



第33号

# 「滋賀県日野町」議会だより

住民のみなさまと議会をつなぐ広報誌



氏郷まつりでハイチーズ

## 9月議会

7月25日に開催された  
臨時会議および  
9月1日から26日に開催  
された定例会議の結果を  
お知らせします。

## INDEX

特集 読者の声、集めました	P2
委員会からの報告	P3～5
13議員一般質問に立つ	P8～21
議員のうごき	P22

令和7年9月定例会議号（令和7年11月15日発行）

日野菜のPRキャラクター  
あのなひのな





# ズバリ言います

議会広報常任委員会では「手に取って読んでもらえる」紙面を目指して議会だよりを作成していますが「議会活動が町民に見えない」とのご意見もいただいています。そこで、前月号の紙面に対してのアンケートを実施し、多くのご意見をいただきましたので、その結果を掲載します。

皆さまの貴重なご意見を参考に、住民目線での紙面づくりのステップアップに努めてまいります。

## ●関心のあるページは

1位 25票 一般質問の内容

2位 15票 特集ページ  
(2~3ページ)

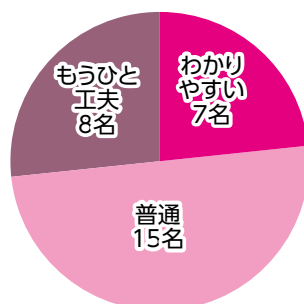
3位 11票 委員会の報告

11票 提出された  
議案と結果

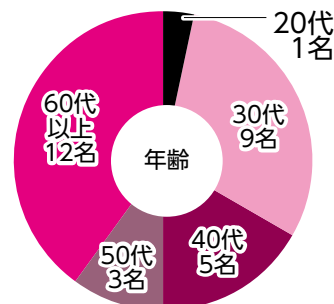
4位 10票 裏表紙

5位 8票 表紙 複数選択が可能

## ●議会だよりの内容は



## ●今回の回答者は(30名)



## 一般質問のコーナーについて

- 暮らしに関する内容が一般質問の中に埋もれてしまっているの「今回の議会で暮らしがこう変わる!」といった形でまとめてほしい。
- 文章が多いと詳細が分かりますが、その反面読むのに時間がかかり流し読み、もしくは読み飛ばしてしまう。詳細を知りたいが文章を少なくし、文字や図・写真が大きめになるともっと読みやすくなる。
- 議会での質問や応答に関しては録画放送で視聴できるので、わざわざ冊子にして配布すること自体もつたいないと感じる。各議員の質問に至る考え方や、ビジョン、日常の活動など見えにくい部分に焦点を当てたり、それぞれ議員独自による個別広報活動を支援するなど工夫してほしい。
- 専門用語(浚渫・専決処分・付託・扶助費など)が解説無しで登場し理解しづらい。
- 議員の質問がだらだらと長くて答えの部分があっさりとし過ぎて、こんな回答しかされなかったの?と思ってしまう。議員の質問をわかりやすく簡潔にしてもらいたい。
- Q&A方式で記載されていますが、Aがいわゆる「答え」になってない。結果や有効性が見えない。
- 写真については説明がないと何の写真かわからないようなものがあります。また資料を掲載したい気持ちもわかりますが、細かいので見るのも読むのもたいへんです。
- 議員の質問が長すぎて読む気が失せる。

## 「小学校六年生の議場見学」 の記事からひとこと

- 子どもの議会参加というのが本題であればもっと質問時間があればいいと思う。今のままではただ見ているだけで本来の「見て学ぶ」という目的からは遠い気がする。子どもが質問して議員さんが答えてさらに子どもからの意見が聞けるといいなと思う。今後も議会見学は続けていってほしいと思う。

## 議会へのご意見

- テーマに基づく特集ページで議会の考え方など知らせていくことも必要ではないでしょうか。
- 今の町民が切実に願っていることについてもっと町民の声を聞き取り検証しながら進めてほしい。

これまでの議会だよりは町のホームページや日野町防災アプリからもご覧いただけます。



## 議員間討議を積極的に行い、議会を活性化!

### 政策立案、提言に向けて研修会(全4回開催予定)

今年度、外部から講師を招き、多様化する町の諸課題に対応できる政策立案ができるよう、全議員で取り組んでいます。

9月3日の第2回目の研修会では、日野町議会基本条例を再確認し、他市町の例や予算関連資料をもとに「政策提言とは何か」について学びました。研修はグループワーク形式で実施し、お互いの意見を共有しながら議論を進めています。

### 次回は広報広聴を学ぶ

## 議会力向上 特別委員会



#### スタートした取り組み

- タブレット端末の活用  
更なる活用で議員力や議会力を向上させる
- 日野町の議員定数の議論  
日野町で14名が必要なのか議論を深める
- 常任委員会で採決前の議員間討議の実施
- 一般質問の振り返り勉強会

#### 今後の取り組み・課題

- 議会報告会の開催  
町内7地区、全議員が参加して行う
- 議員のなり手不足解消への取り組み
- 日野町議会業務継続計画の見直し
- 広報や広聴の更なる充実

## 地域振興 対策 特別委員会

## 人口減少対策への議論深める

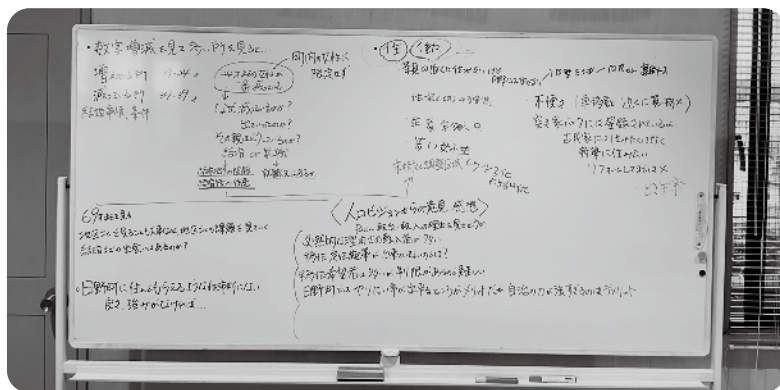
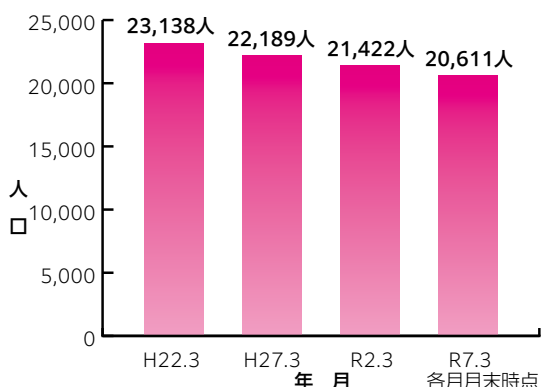
### 人口減少 への対応

7月から9月に3回の委員会を開催し「人口減少」が町の将来を左右するテーマであることを確認するとともに「人口減少は結果(事象)であり、人口減少という状況にどう対応していくか」を真の課題として、今後調査研究を進めることとしました。

9月18日の委員会では、町の人口推計や人口ビジョンを基にグループワークを行い、①若年層(特に女性)の転出、②雇用の場の確保、③住居の確保(市街化調整区域の規制緩和)等について議論を深めました。

今後も、必要に応じて意見交換会や先進地視察を行い、アドバイザーによる研修も活用しながら進めていきます。

#### 日野町の人口推移



議論した内容

## 予算決算 特別委員会

付託案件  
1件



## 待ち望まれる新しい認定こども園

### ピックアップ 認定こども園整備事業 3,600万円増

**内容** 幼保連携型認定こども園の整備に向けて早期に取り組む必要があることから、用地測量や基本設計等に必要となる経費を新規に計上。

**問** 整備事業委託料3,600万円の内訳は何か。またこの額は妥当なものか。

**答** 基本設計、事業認定支援業務（測量設計含む）、造成設計業務、農業用水設計業務の4業務である。また概算による積算設計を行っており、同種業務と同様の相場と考えている。

### ピックアップ 防犯対策事業 52万8千円増

**内容** 滋賀県防犯カメラ設置促進事業交付金を活用して、防犯カメラの設置要望があった集落に対して購入補助をするもの。

**問** 防犯カメラは、何か所設置予定か。また設置する理由は何か。

**答** 5地区の計8か所に設置予定である。集落の入り口や集会所に設置されるもので防犯対策が主である。

## 手数料・使用料の改正は適切か？

### ピックアップ 手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

**内容** 各種証明書等の交付手数料を200円から300円に改定。コンビニ交付については200円に据え置き。

**問** 窓口での手数料は値上げし、コンビニ交付手数料を据え置く理由は？

**答** 窓口手数料は近隣市町の水準に合わせたもの。コンビニ交付手数料を据え置くことでマイナンバーカードを利用したコンビニ交付を促進し、窓口業務の負担を軽減させる。

【反対討論】マイナンバーカードの取得を誘導する施策である。

【賛成討論】窓口業務の負担軽減に繋がり、行政全体の効率向上に資する。

### ピックアップ 使用料条例の一部を改正する条例の制定

**内容** わたむきホール虹、グリム冒険の森の各施設の使用料の値上げ

**問** 施設の改定における基本方針は？

**答** 物価や管理費の高騰分を指定管理料のみでなく、受益者負担とのバランスを考慮して改定額を決めた。

## 総務 常任委員会

付託案件  
6件





## 産業建設 常任委員会

付託案件  
3件



## すぐそこに迫る災害への対応を!

### ピックアップ 日野町公共下水道条例の一部改正

**内容** 災害時等において、他の市町村長が指定した者による排水設備等の工事を可能とする案件

**問** 条例改正のねらいは？

**答** 大規模災害時、広域連携での復旧を迅速に行うことができる。

### 調査研究 町内各所の除草・伐採について課題を洗い出す

**内容** 国道や県道をはじめ、町道や里道などそれぞれに管理者が決まっている。これまでは各管理者が適切に維持管理を行ってきたが、人口減少・高齢化により担い手不足が大きな課題となっている。様々なケースを想定し対応していく必要がある。



## 子ども・子育て支援金制度の在り方について意見あり

### ピックアップ システム改修に伴う委託料

**内容** 令和8年度からの子ども・子育て支援金制度開始に伴い、国の財源を活用しシステム改修に必要となる経費を計上。(議第63号・議第65号)

**問** 国民健康保険の保険税に子ども・子育て支援金を上乗せして徴収することについて、町としてどう考えているのか？またなぜ、国税で徴収するのではなく医療保険に上乗せして徴収するのか？

**答** 「子育て施策」を全世帯で支えるという趣旨で、医療保険から財源確保するというのが国の考えである。すべての医療保険が対象となるよう制度化されているため、国民健康保険についても事務を進めている。

【反対討論】 子ども・子育て支援にかかる財源を医療保険に上乗せする施策に問題あり。経済的に苦しい国民健康保険加入者にも負担がかかる。

【賛成討論】 すでに制度が始まろうとしている今この段階で反対するべきではないと考える。国で議論されている段階で要望を上げるべきである。

### 調査研究 生活支援体制整備事業について

**内容** 「生活支援コーディネーター」と「協議体」の配置により、介護予防や住み慣れた地域で暮らしていけるように、取り組みを進めていく事業。

## 厚生 常任委員会

付託案件  
5件



# 提出された議案と結果

○賛成 ×反対

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

## 7月 臨時会議(7月25日)

### ●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案
議第50号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第3号) 補正予算額 1,098万9千円 ・物価高騰の影響を受ける生活者や事業者等への支援を行うための経費 ・議場会議システムの不具合に伴う更新費用 など

## 9月定例会議(9月1日~26日)

議案審査を付託された委員会

【予算決算】 予算決算特別委員会

【総務】 総務常任委員会

【産建】 産業建設常任委員会

【厚生】 厚生常任委員会

### ●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第51号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—
議第52号	日野町教育委員会委員の任命について	—
議第53号	財産の取得について(図書館システム電子計算機器類)	総務
議第54号	町道の路線の認定について	産建
議第55号	日野町の議会議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第56号	日野町職員の育児休業等に関する条例および日野町職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第57号	日野町税条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第59号	日野町使用料条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第60号	日野町上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	厚生
議第61号	日野町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第62号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第4号)	予算決算
議第64号	令和7年度日野町介護保険特別会計補正予算(第1号)	厚生
議第66号	令和7年度日野町水道事業会計補正予算(第1号)	厚生
議第67号	令和7年度日野町下水道事業会計補正予算(第1号)	産建

### ●10月に集中審査することとなった案件 付託先: 予算決算特別委員会

番号	町長提出議案	
議第68号	令和6年度日野町一般会計歳入歳出決算について	集中審査 ▽開催日 10月20日、21日、29日、30日
議第69号	令和6年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	
議第70号	令和6年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算について	
議第71号	令和6年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	
議第72号	令和6年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算について	
議第73号	令和6年度日野町水道事業会計決算について	
議第74号	令和6年度日野町下水道事業会計利益の処分および決算について	



## ●賛否が分かれた案件

番号	提出議案	付託先	結果	錦戸	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
議第58号	日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	／
議第63号	令和7年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	／
議第65号	令和7年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	／

### 議第58号 日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

住民票等の各種証明書の交付手数料を200円から300円に改定するもの。ただし、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付等の場合は、現行どおり200円に据え置き。

反対

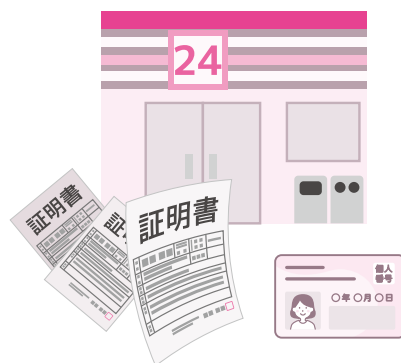
#### マイナンバーカードの取得や利用促進への政策誘導ではないか

- ・住民の利便性を考えれば、不便な窓口での申請では、なおさら200円に据え置くべきである。
- ・マイナンバーカードを持っていない人だけが負担増になることは公平性に欠け、マイナンバーカードの取得および利用の促進に向けての政策誘導ではないか。

賛成

#### 地方自治体として当然の取り組みである

- ・近隣の市町で300円が普通になっている中で、コンビニで発行した場合に200円に据え置いていることは評価できることではないか。
- ・マイナンバーカードは国が推奨する施策であるため、地方自治体として当然の取り組みであり、マイナンバーカードの取得は強制ではなく任意である。



### 議第63号 令和7年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

### 議第65号 令和7年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

子ども・子育て支援金<sup>\*</sup>制度の導入に向けたシステム改修に伴う委託料の増額

反対

#### 負担増となるような制度のシステム改修を認めるわけにはいかない

- ・医療保険料に上乗せする徴収方法に納得がいかない。この制度は、国保加入者や後期高齢者の負担増となるものであり、そのためのシステム改修を認めるわけにはいかない。
- ・国の制度として決められたものであるが、国や県に再考を求める意味でも、地方議会が意思表示を行うべきである。

賛成

#### 法令に基づいたシステム改修の経費である

- ・令和8年度からの子ども・子育て支援に伴い、法令に基づいた一連の流れの中の必要なシステム改修の経費である。町は国の制度を粛々と進めていく以外に、この時期において議論の余地はないと考える。

#### ※子ども・子育て支援金とは？

子ども・子育て支援金制度とは、少子化対策を強化するために、全世代・全経済主体で子育て世帯を支えるための新しい仕組みです。子ども・子育て支援金は、その財源として医療保険と合わせて徴収される徴収金のことです。

# 令和7年9月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、  
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質 問 内 容	ページ
1 谷口 ともや 智哉	1 狩猟免許取得に対する助成はないのか 2 子どもや保護者が相談できる居場所作りが大事ではないか	P. 9
2 川東 あき お 昭男	1 急傾斜地の危険な草刈りを町でお願いできないか	P.10
3 高橋 げんざぶろう 源三郎	1 メロディチャイムの曲を四季に合わせて変えてはどうか 2 松尾公園にあるカリヨンベルを大谷公園に移設できないか	P.11
4 錦戸 ゆ か 由佳	1 子どもたちの食のあり方について	P.12
5 福永 あきひと 晃仁	1 日野町的マーケティングと持続可能性 2 あれから80年「私たちはどう生きるのか」	P.13
6 西澤 まさはる 正治	1 近江日野産日野菜の生産振興について	P.14
7 松田 よう こ 洋子	1 学校給食費の無償化について(その2) 2 新こども園の園舎は3,200㎡必要か	P.15
8 山本 ひで き 秀喜	① 美味しい「近江日野米」を構築し、持続可能な地域農業に ② G I 認証「近江日野産日野菜」の生産拡大について 3 民間による鳥居平・松尾工業団地の産業立地から見える課題について	P.16
9 加藤 かずゆき 和幸	1 町消防団の定数と集落の現状について 2 高すぎる国保税の引き下げを	P.17
10 柚木 き く お 記久雄	1 南比都佐地区5集落が供給を受ける甲賀市上水道の断水事象について 2 病児・病後児保育の施設について	P.18
11 中西 けい こ 佳子	1 平和堂跡地利活用と商店街振興について 2 小・中学校体育館のエアコン整備について	P.19
12 後藤 ゆう き 勇樹	1 骨髄等移植ドナーへの支援拡充について ② 米増産への政策転換を受け町当局の農家への対応を問う ③ 町道奥之池2号線・第二工区の今後の進捗を問う	P.20
13 野矢 たかゆき 貴之	1 地域共生社会をつくる重層的支援体制整備とは？	P.21

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、  
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。  
本会議はインターネット配信を行っていますが、機器更新中によりライブ中継、録画中継ともに音声のみの配信となっています。  
一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



上の二次元コードを読み取ると  
一般質問の録画が視聴できます。





## 問 狩猟免許取得に対する助成はないのか

答 事前講習会の受講費助成は行っているが、個人の資格取得に対する助成は研究していきたい



たにぐちともや 議員 谷口 智哉



### 問

有害鳥獣被害に  
関しては、私自身の

日野菜も被害にあった過去があり、獣害防止の当事者が増えるきっかけになるよう質問していきたい。

①「東近江地域鳥獣被害防止計画」とはどのようなものか。

②日野町として、農作物の被害は何が問題であるところとされているのか。

③獣害を減らすためにはどうしていく必要があるかと考えるか。

④捕獲の当事者を増やすことも獣害減少につながるのではないか。

⑤捕獲の当事者としての狩猟免許取得者を増やす為に狩猟免許取得に対して補助はしていないのか。

### 答

①イノシシやシカ、ニホンザル等有害

獣の捕獲を計画的に進め、農作物や生活被害を軽減させることを目的としている。②獣害に遭うことで、生産者の方が落胆されることはもちろんのこと、出荷出来ないことによる収入の

減少、そしてこれらが繰り返して起こることによって、農業を続けようという意欲の減退につながるものが問題であると考えている。

③人と獣の住み分けがしっかりと出来るよう緩衝帯を設けるために、山裾の草刈りをし、寄り付きにくい環境作りが必要である。また、集落や田畑への侵入がある場合は追い払いをして、ここに来たら追い払われると思わせ、そもそも餌になるものを置かないことや囲い込んでおくことも有効であると考えている。

④獣害減少に有効だと考える。

⑤狩猟免許を取得するための「狩猟免許試験予備講習会」受講費を、東近江地域鳥獣被害防止協議会から助成している。狩猟免許の取得自体に対しては過去に議論がなされたが、個人の資格になるものなので助成には至らなかったと聞いている。当面はそのような方向性で考える。

### 問

子どもや保護者が相談できる  
居場所作りが大事ではないか

### 答

子どもへの関わりが大事であり  
様々な支援機関との連携を強化していきたい

### 問

今年度より始まった児童育成支援拠点事業について伺う。

①この制度を活用できる子どもの条件が知りたい。

②対象となる子どもが支援を受けられないまま成長するとどのような弊害が考えられるか。

③事業の支援概要を知りたい。

④現在の利用状況と利用するための手続きを伺いたい。

⑤保護者や子どもが家庭のことを信頼して相談できる第三の居場所が必要ではないか。

### 答

①児童育成支援拠点事業は、地域に

おける子どもと家庭の総合的な相談・支援の拠点を設けることを目的に国により令和6年度から創設された事業で、町では

今年度から取組んでいる。事業の創設の背景としては、子どもが直面する課題が複雑かつ、複合化したことにより、子どもの個別のニーズにきめ細かに対応する「居場所」が必要となってきたことにある。対象となる条件等については、家庭における様々な事情により養育上の不安や困難を抱える、小学校から高校生の学齢期で、学校や自宅以外に居場所を求める児童等を主な対象条件としている。

②子どもの学習面での困難さなどに早期に対応できず、学習意欲の低下等につながることや、安心して過ごせる環境や、人との関わりが欠如することなどで自己肯定感や信頼感が育ちにくくなることを考えている。

③子どもたちが安心して過ごせる居場所を開設し、子どもの健全な成長を大人や地域全体で支えることを目的としている。生活習慣作りや学習活動のサポート、食事の提供、悩み相談、そして保護者への相談支援や情報提供などに取り組むもので、学校や園、こども家庭センターなどの関係機関との連携も図っていく。

④現在は、11名程度の児童が利用しており、利用のための手続きは、原則として保護者による利用申し込みが必要となる。

⑤もちろん必要であり、日野町内の様々な支援機関や子ども家庭センターと連携しながら子どもたちの未来のためにいろいろな方との出会いの場を設けていきたい。

## 問 急傾斜地の危険な草刈りを町でお願いできないか

答 まず、急傾斜地崩壊危険区域の状況を把握し、  
整理を行った上で、町の対策を検討する



かわむがし あき お  
川東 昭男 議員



▲豊田4区の急傾斜地  
(上から見る)



▲豊田4区の急傾斜地  
(下から見る)

### 問

私の住む豊田4区では、昨年度から「急傾斜地崩壊危険区域」の約3分の1の草刈りは、作業があまりに危険なため、とうとう放置せざるを得なくなりました。

ところが、この夏に放置した「急傾斜地」の下

建物に、つる草が屋根全体に覆いかぶさり、大変な状況になりました。

草刈り作業は、そこに住む住民が力をあわせてするべきものと思っておりますが「危険な箇所」については、町で対応して頂けないものか伺います。

①日野町の「急傾斜地崩壊危険区域」の件数を地域別に教えてください。  
なお、砂防事業や治山事業等について事業別に伺います。

②日野町の「急傾斜地」の危険な草刈り作業について、町はどのようにお考えか。また、地元からの相談や要望はなかったか。県や町の対応を伺います。

③豊田4区のような事例は、他の地域ではありませんか。これまで「急傾斜地」の工事で「草刈り作業が困難な足場のない箇所」は、町内にどれぐらいありますか。

④町は「急傾斜地崩壊危険区域」等の草刈り作業について、現場確認の上、町が基準を定め「地域指定制度」を策定して、町の責任で対応してもらえないか伺います。

### 答

①日野町の「急傾斜地崩壊危険区域」は47集落。工事で整備した件数は、東桜谷地区で65件、西桜谷地区で3件、南比都佐地区で34件、必佐地区で31件、日野地区で5件、西大路地区で18件の合計156件。

また、治山工事は68件。砂防事業は43件あるが、河川の上流部での工事で、家に近接する箇所はない。

②「急傾斜地」の法面を植生工法で整備した箇所などは危険なところもあると認識している。また、同様な状況の地域からの要望を受け、対応した事例がある。

県や町の対応は、急傾斜地施設の一部分が破損するなど修繕が発生した場合

には、随時、修繕の対応をしており、現場の状況にあわせて対応している。

③豊田4区の急傾斜地は、ブロック積工法の上に法枠工法があり、さらに法枠工法の表面に防草シートが設置されている、特

### 急傾斜地崩壊危険区域とは

急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和47年7月1日法律第57号、以下「急傾斜地法」という。)第3条に基づき、関係市町村長(特別区の長を含む)の意見をきいて、都道府県知事が指定した区域です。

(1)崩壊するおそれのある急傾斜地(傾斜度が30度以上の土地をいう。以下同じ。)で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に被害のおそれのあるもの

(2)(1)に隣接する土地のうち、急傾斜地の崩壊が助長・誘発されるおそれがないようにするため、一定の行為制限の必要がある土地の区域

〔国土交通省〕

### 問

再々質問を通じて、県は、他に

「草刈りされている箇所はない」といい、町も「豊田4区の急傾斜地は、特殊な箇所だ」と答弁。また「町の責任で、草刈りを実施している箇所が1箇所ある」との答弁ですが、豊田4区もこの1箇所と同様ではないのか。見解を伺います。

### 答

町内の急傾斜事業で整備された箇所は、昭和50年代から平成10年代にかけて大半が整備されている。当時と状況も大きく変わっていると思われるため、現地を確認し、状況を把握すること、一定の整理ができればと考える。

### 要望として

豊田4区の急傾斜地は、現在、町が実施されている1箇所と同様に危険な箇所として「地域指定」して頂きたい。さらに、他の同様な地域においても「地域指定」の上、町による草刈りをお願いしたい。



## 問 メロディチャイムの曲を四季に合わせて変えてはどうか

**答** メロディチャイムは同報系防災行政無線が正常に稼働しているか毎日テストするのが目的のため、曲を変更する予定はない



たかはし げんざぶろう  
高橋 源三郎 議員



### 問

この質問は6年前にも「メロディチャイムの曲が30年間変わっていないように思うがどうか」ということで一般質問しています。これ

に対し答弁では、「曲は4曲鳴らしサイレンの吹鳴もしている。曲は各地域において決定いただいております。区長会等で要望があれば対応する」との答弁をいただいています。しかし、現実には区長は毎年代わっており、区長の多くはこのことを知らないと思いますので、そうした申し出は無いかと思えます。この質問以来6年が経過しますが、区長会から曲目の変更について要望があったのかどうか伺います。

次に要望がないため今まで同じ曲を鳴らしているというのであれば、区長会に問いかけるとか、当局から進んで曲の変更を考え、定期的に変えていくという姿勢があればと思うのですがどうか。

3点目に曲目は何曲収納されているのか。また日野町には日野が生んだ日本の作詞家、細川雄太郎氏が作詞された『綿向山(わたむき)賛歌』や『ちんから峠』などの曲がありますが、それらの曲や、さらには『青い目の人形』、『日野小唄』など、日野町にまつわる曲を流してどうかと思えますがどうでしょうか。

### 答

1点目の区長会からの曲の変更の要望はありません。

2点目の定期的な曲目の変更については、この同報系防災行政無線は主に災害発生時等の情報伝達を目的としているため、装置やスピーカーが常時正常に稼働しているかを確認するとともに、不具合があった場合には早期に対応できるよう、毎日決まった時間にテスト放送としてメロディチャイムを流しているもの。よって曲目の変更は考えていません。

3点目の曲目数は9曲あり、日野町にまつわる曲の要望については区長会や地区運営委員会が協議いただければと思う。

### 問

松尾公園にあるカリヨンベルを大谷公園に移設できないか

**答** 松尾公園のカリヨンベルとして利用を継続していく

### 問

松尾公園にあるカリヨンベルは、メロディチャイムと同様に今から36年前の平成元年、竹下登内閣が行った「自ら考え自ら行う地域づくり事業」、いわゆる通称「ふるさと創生1億円事業」により設置されたものです。日野町では住民からアイデアを募集され、選考委員会で選ばれた結果これらに決まったと思えます。

松尾公園にあるカリヨンベルは、大谷公園と比較すると利用者が少ないのが現実です。それゆえ多くの住民が集まる大谷公園の一角に移せば、多くの利用者にとってメロディを聞いてもらえるのではないかと思います。

### 答

松尾公園に設置のカリヨンベルは、定刻の時間になるとベルの音色で曲が流れ、公園や近隣施設の利用者、また近くの住民にもメロディとして時刻をお知らせしています。

平成元年に設置してから年月が経ち、今では松尾公園のシンボリック的存在となっており、多くの人に親しみを持っていただいています。よって、今後も松尾公園のカリヨンベルとして利用を継続していきます。



## 問 子どもたちの食のあり方について

答 家庭・地域・教育機関・行政が一体となり食育の推進に努める



にしきど ゆか  
錦戸 由佳 議員



### 問

食育は幼少期からの取り組みが大人になつてからも食習慣に与える影響が大きいと考えるが、町の食育への取り組みはいかがか。

- ① 学校教育での食育の具体的な取り組みは。
- ② 今現在、食育における一番大きな課題は。
- ③ 学校給食が地域循環型社会の構築に貢献出来るのではと考えるがいかがか。
- ④ 調理くずと食べ残しを減らすための取り組みや成果は。
- ⑤ 今後、農業衰退が懸念されるが学校給食に与える影響は。
- ⑥ 給食調理員の職場環境はいかがか。
- ⑦ 指定避難所となつてい各学校に調理場があることについて町の考えは。
- ⑧ 令和10年開園予定の新こども園での給食提供は現時点でどのように考えているか。

### 答

① 取り組みとしては大きく4つあり、食に関する指導

- ・食に関する指導
- ・地産地消給食メニュー
- ・食育授業
- ・農業体験学習

を地域の特色を活かし体験学習をすることで命の尊さや食の大切さを学んでいる。



▶ 給食だより(9月号)



▶ 給食だより二次元コード

② 食育の学びが「学校・園だけの知識」とどまり、持続可能な食育への意識が普段の生活の中に十分浸透していないことが課題であり、今後は、保護者、地域への広報や各公民館などへ働きかけをする。

③ 地場産品の提供にも力を入れ、残渣は生ごみ処理機で堆肥化し、役場で配布しており、しくみの一つになっていると考える。



▶ 堆肥配布場所

(1階出納室前)

④ 栄養士・調理員が、常に子ども目線でメニューや調理方法の工夫、改善に努めていること、給食指導により成果が出ていると考える。

※1地域内で限りある資源を無駄なく使い、発生する廃棄物を最小限に抑えつつ、リサイクルなどで資源を循環させ、地域経済の活性化も目指す持続可能なシステムのこと。

⑤ 地場産活用を進める中、大きな影響があると考え、給食に提供していただく野菜については現在、事前に希望する物を伝え生産していただいているが、今後は生産者の方が提供していただきやすい取り組みや農林課、JAとも連携し農業者育成を進めていきたい。

⑥ 調理室の環境は順次整えているが、近年の猛暑による負担はある。調理員が休まれる場合の代替はスポット調理員で対応している。スポット調理員については登録人数を増やすためにも募集を継続して行う。

### 要望として

さらに残渣を減らせるよう、幼児期から取り組みやすくするため「一口チャレンジ」や「野菜を花形にカットする」、「ロング給食時間」を設けるなど、子ども達が給食を楽しみながら食育に取り組みめるよう検討していただきたい。

⑦ 大人数の調理を行い、避難者への温かい食事提供が出来るため、災害発生時には非常に有効である。調理場には食材のストックはない為、町の備蓄品などで対応する。

### 要望として

災害時に温かい食事提供が出来ることは住民にとってとてもありがたいことである。日頃から災害時に備え、調理場を使った防災訓練なども検討していただきたい。

⑧ 現時点では0〜5歳までの園児に対し、自園調理による提供を考えている。

給食に関わる者が連携し、子どもたちにとって安心、安全な給食提供となるようこれまでと同様に対応をしていく。

### 要望として

今後引き続き、どの町にも負けない給食食育に努め、さらに新こども園の開園が町への移住定住にも繋がるよう努めていただきたい。





## 問 近江日野産日野菜の生産振興について

答 今後も生産者に寄り添い、生産者、生産量を増やしていきたい



にしざわ まさはる  
西澤 正治 議員



### 問

令和4年、我がふる里である鎌掛の地で発見された日野菜が農林水産省の地理的表示（GI）保護制度の認証を受け、鎌掛の地域としても喜んでいるところです。

しかし、その生産体制をみれば生産者の高齢化、後継者不在、将来に向けた生産体制の脆弱さなど、課題は山積していると言わざるを得ません。

鎌掛地区では、地域住民だけでなく広く地域内外の方々に呼びかけ、一人一畝の日野菜を栽培する「ひとつね運動」に取り組む、住民が支え合いながら日野菜の生産振興と地域の誇りを次の世代に受け継いでいけるように取り組んでいるところ

です。

GI認証から3年経過しようとしている今、改めて日野菜振興にかける町の考えを伺いたいと思います。

①過去5年間（令和2年

（6年）における日野菜生産量、生産者数はどのように推移しているか。

②令和7年の日野菜生産量、生産者数の見込みはいかがか。今年は猛暑と降水量不足で播種作業が思うように進まなかったと聞いており、減量になることを心配している。

③日野菜の種子は古くより深山口の地で連綿と厳正に守り、受け継がれてきているが、過去5年間（令和2年～6年）の種子生産量の状況は、どのように推移しているか。

④令和7年度から、JA町、県による日野菜生産モデル事業が取り組まれており、鎌掛の「農事組合法人ファームかやの」も、ほ場の提供などに協力されている。モデル事業の目的、事業期間や事業内容などをどのような

### 答

①令和2年が32トン、60名

令和3年が46トン、68名  
令和4年が32トン、60名  
令和5年が27トン、58名  
令和6年が20トン、52名

②現在のところ、生産量が約25トンから30トン、生産者数は60名程度と見込んでいます。最近の異常気象、高温の障害が出ている。害虫の発生にも悩まされている。町やJAで定期的なほ場巡回を実施し生産者に寄り添い支援を行っている。令和6年度から日野菜生産コーデイネーターを採用しており、これからはしっかりと支えていきたい。

加工場への出荷に対する補助金を新設したほ

か、口コミや声掛けにより生産者を増やす努力もしている。今後も生産者数を増やし、生産量を増やしていければと考えている。

③令和2年が11・9kg  
令和3年が46・3kg  
令和4年が50・5kg  
令和5年が30・6kg  
令和6年が20・4kg

である。原種にも高温障害による影響や人材不足の課題があると聞いており、今後相談に応じたいと考えている。

④「農事組合法人ファームかやの」が管理する約1ヘクタールの農地を、JAグリーン近江が令和

7年の春作と秋作の日野菜を、機械化による省力化や生産効率の向上による面積拡大の実証園として、畝立て同時播種による少人数での作業等を行われているものです。実証結果等を検証し来季の実施も検討される予定である。

これまでからも機械購入時の補助をしているほか生産者の意欲が向上するよう今年度から日野菜加工場に出荷する際の補助を新たににつくっている。どのような支援がよいかは関係者の意見を参考に次年度以降に考えていきたい。



長野日野菜生産団地：  
鎌掛地先、県道41号土山蒲生近江八幡線沿いに広がる日野菜畑を指す



## 問 学校給食費の無償化について(その2)

答 国からの具体的な方向性が示された段階で  
町として無償化の対応をする



まつだ ようこ  
松田 洋子 議員



### 問

①国は令和8年度  
に小学校給食費無

償化の予算計上を予定して  
いますが、日野町にお  
いて令和8年度から給食  
費の無償化を実現するの  
か伺います。

②就学援助の対象となる  
境界より収入が少し多い  
為に給付対象から外され  
る家庭に対して、給食費  
の無償化が実現するまで  
の期間において、準要保  
護の定義1・2倍を1・

5倍に引き上げることが  
できないのか伺います。  
③就学援助金を準要保護  
定義の1・3倍にしたら  
76人が対象となり、一  
人7万円で計算すると、1

05万円の増額、1・5  
倍にしたら90人が対象で  
287万円の増額になる



と昨年の12月議会で答弁  
されました。再度の質問  
になりますが給食費無償  
化が実現するまでの間だ  
けでも就学援助の判定基  
準を1・3倍又は1・5  
倍にできないか伺います。

### 答

①現時点では、町  
単独での実施は非  
常に困難な状況であると  
判断していますが、国の  
施策として方向性が示さ  
れた段階で、無償化の対  
応をしていく考えです。

②就学援助費の判定基準  
を引き上げることについ  
ては、現行の援助率を維  
持すると判断している。  
必要な支援を受けられな  
いご家庭が生じることの  
ないよう、個別の相談対  
応や各家庭の状況に応じ  
た柔軟な支援の充実に努  
めていきます。

③日野町より高い率で就  
学援助金を認定している  
市町よりも日野町の認定  
率は高く、年々増えてい  
ます。平成17年「三位一体  
の改革」で国庫補助が廃

止された後は、町の裁量  
でやっており、援助率を  
現状より上げることが、  
考えておりません。

## 問 新こども園の園舎は3,200㎡必要か

答 病後児保育室等新たな部屋も検討している

### 問

①新こども園園舎  
規模は3,200

㎡必要と回答されました  
が、これは廃園となる園  
の合計定員数500人預  
かるのに3,200㎡必  
要なのであって、跡地を  
利用しようとは考えな  
かったのか伺います。

新こども園は、285  
人の定員なので3,  
200㎡は大きすぎると  
考えますが、必要な理由  
を伺います。

②新こども園の建設予定  
地が日野町の中央に位置  
し、通園対象者が全町と  
なることから、中央から  
離れた地域に、子育て世  
代が住居をためらうこと  
にならないか心配されま  
す。町として子育て世代

の定住についての考えを  
伺います。

③新しい土地を買い上げ  
ての新園舎建設には、高  
額な予算が必要となり  
ますが、幼稚園の敷地、  
例えば日野幼稚園なら  
4,800㎡なので3,  
200㎡の園舎だけなら  
幼稚園の敷地が利用でき  
るのですが、日野幼稚園  
の敷地を利用しようとは  
考えなかったのか伺いま  
す。

### 答

①法令等に基づく  
各諸室等の設置基  
準に加え、病後児保育室  
や職員休憩室など新たな  
諸室の配置も検討してお  
り、子どもたちにとって  
安心して過ごせる環境、  
また保育者にとっても働  
きやすい施設整備を検討  
しています。

②再編整備計画では、新  
こども園の他、必佐のこ  
ども園、桜谷のこども園、  
わらべ保育園や、鎌掛、南  
比都佐の小規模保育施  
設、そして西大路には子  
育て支援施設を設置する  
予定であり、これまでと  
同様に保護者の通勤など  
を考慮して通園する施設  
を選択していただきます。  
今後町内全域にお  
いて、子育て世代が安心  
して定住できる環境整備  
を推進していきます。

③閉園予定の幼稚園や保  
育園の跡地利用の協議は  
しましたが、町内施設の  
配置バランスと駐車場や  
園庭を考えるとどうして  
も、10,000㎡以上の  
敷地が必要となりました  
ので、図書館の東側と北  
側の土地  
に新こど  
も園を建  
設する予  
定となっ  
たものです。



## 問 美味しい「近江日野米」を構築し、持続可能な地域農業に

答 近江米「きらみずき」について有利な販売の準備を進めている



やまもと ひで き  
山本 秀喜 議員



綿向山をバックに収穫作業の最盛期

です。を有利な販売の準備を進めているところ

課題について①持続可能な農業経営体とは②産地交付金などの支援拡充は

町農業者を取り巻く諸課題について①持続可能な農業経営体とは②産地交付金などの支援拡充は

今年米不足は備蓄米の放出や外国産米が輸入され、食卓に欠かせないお米の需給面や価格の不安がつきま

### 問

③5年に1度の水張りルールは④美味しい「近江日野米」を拡販するには、について伺います。

### 答

①効率化や経営規模だけでなく、やりがいをもち、地域を支え未来を見据えて前向きに農業に取り組まれている方こそが持続可能な農業経営体であると考えています。

②国の経営所得安定対策と合わせ、滋賀県設定や町の地域設定枠により柔軟に対応しています。

③水張りルールは、1ヶ月以上の湛水または連作障害を回避する取組みのどちらかを行えば交付対象の水田となります。

④他産地の米との差別化をしっかりとアピールする必要があります。

### 問

G-1(地理的表示制度)認証を受けた「近江日野産日野菜」の秋作が始まっています。

本場の日野菜漬けなど、PRにも奮闘されホテルや飲食店での提供拡大、地域の皆さんの日野菜漬

### 答

①日野菜の栽培面積、生産数量、販売数量は左上の表の通りです。

8月後半になっても記録的な猛暑が続く雨不足の中、いつも通りの美しい日野菜が採れるのか、私が本格的に栽培を始めてから5年目、変化が厳しい気象条件に気を揉んでいるところ

さて、「近江日野産日野菜」は行政、JAさんによって新たな商品開発も進み(日野菜焼酎の販売)、ます。

②日野菜焼酎の販売動向

③新しい商品開発④日野菜振興施策について伺

## 問 G-1認証「近江日野産日野菜」の生産拡大について

答 「特色ある地域活性化事業」の支援策を打ち出している

	目標値	令和4年実績	令和5年実績	令和6年実績	令和7年春作実績
日野菜の栽培面積	8.0ha	7.6ha	5.7ha	5.5ha	2.2ha
日野菜加工品生産数量(JA)	80,000袋	82,000袋	76,000袋	66,000袋	
日野菜加工品販売数量(JA)		74,000袋	73,000袋	63,000袋	

日野菜の生産・販売実績



左の二次元コードから一般質問で紹介した資料(日野菜の歴史、美味しい日野菜の秘密、行政・JA・生産者が一体となった取り組み)を見ることができます。

支援策を打ち出しています。より多くの方に日野菜を作付け、出荷いただけるよう働きかけを行っています。また、今年12月15日に町村合併70周年記念として「近江の伝統野菜サミット」を予定、伝統野菜をどのように未来につないでいくか、議論できる場にと考えています。



## 問 町消防団の定数と集落の現状について

答 消防団幹部会と協議し、削減を視野に慎重に検討



かとう かずゆき  
加藤 和幸 議員



県内市町の消防団に係る概要等  
2024.4.1.現在(ただし、在職年数の項のみ2023.4.1.現在)

	面積 (㎡)	人口 (人)	分団 数	団員数		平均 年齢	在職年数			手当額(1口)	
				(実数)	条例 定数		10年 未満	10~ 20年	20年 以上	火災 風水害	警戒 訓練
県計	10,412.04	1,432,045	223	7,406	8,418	▲1,012	43.8	4,020	2,350	1,036	
大津市	464.51	343,916	36	1,178	1,313	▲135	46.9	538	387	253	8,000
彦根市	354.07	132,243	17	424	525	▲101	45.4	208	106	110	8,000
豊郷町	7.80	7,196	2	39	50	▲11	45.3	16	11	12	8,000
甲良町	13.63	6,511	2	53	60	▲7	48.9	22	17	14	8,000
多賀町	135.77	7,418	2	51	60	▲9	49.7	14	14	23	8,000
高島市	6,930.50	45,783	12	469	560	▲91	43.7	193	183	93	8,000
郡津市	67.82	139,939	9	227	274	▲47	47.1	106	84	37	8,000
守山市	55.73	85,856	8	217	219	▲2	45.9	91	78	48	8,000
栗東市	52.69	70,469	6	91	114	▲23	54.3	52	22	17	8,000
野洲市	80.15	50,711	8	158	178	▲20	47.9	69	59	30	8,000
近江八幡	177.45	81,875	12	436	500	▲64	46.6	253	129	54	8,000
東近江市	388.37	112,064	27	797	910	▲113	42.6	497	234	66	8,000
日野町	117.60	20,861	3	185	185	0	39.7	157	26	2	8,000
竜王町	44.55	11,433	3	185	192	▲7	41.9	156	23	6	8,000
愛荘町	37.97	21,194	6	110	142	▲32	40.0	88	14	8	1,700
湖南市	70.40	54,382	5	281	300	▲19	39.9	159	94	28	8,000
甲賀市	481.62	88,493	23	945	1,120	▲175	39.8	535	362	48	8,000
長浜市	681.02	113,940	29	844	854	▲10	42.4	476	256	112	8,000
米原市	280.39	37,761	13	716	862	▲146	43.6	390	251	75	3,400

※大津市は、警戒2,000円、訓練1,600円。高島市は、警戒8,000円、訓練1,500円。他は警戒・訓練同額。

▲滋賀県の消防に関するホームページから抜粋して加藤が作成

**問** 西桜谷地区行政懇談会で消防団員確保の困難さについて集落の現状が述べられ、町の団員総定数、3分団制、分団ごとの定数、集落ごとの定数などの見直しが必要とされた。

でもあり、消防団の必要性は十分承知の上で、若者流出を食い止めることでも検討されたい。

①町の総定数185人の根拠、分団制、分団定数の根拠を伺う。

②条例定数を満たさない市町がほとんどであるが

**答** ①平成2年条例定数は有事の対応や団活動に鑑み、団と協議し決定。3分団制の経緯と定数は地域の特性を把握したもの。

②問題にはならないが、災害時対応や防災力低下、負担増が懸念される。

問題にならないのか。

③他市町より平均年齢が若く、選出の困難さを示しているかどうか。

④ポンプ操法大会の出場訓練が若者流出の一因とも言われる。定数見直しの予定はどうか。

## 問 高すぎる国保税の引き下げを

答 知事要望で国に対して施策の推進を要望

**問** 国保税は年々引き上げられ、国保会計の将来展望も見えない。

新聞報道では、県内市町の国保料(税)の平均額(モデル)は43万8,765円、当町は45万4,100円。

①国保加入者には、高齢者や低所得者の割合が高く、これ以上税額を上げることが限界であると考えるが、どうか。町の国保基金の取り崩しの限度をどう考えているか。

②県統一化提唱後の8

**答** ①改定にあつては一部基金を取り崩し、段階的な引き上げと

し、段階的な引き上げと

②取り組みそのものは町民の健康増進につながり、国の特別調整交付金に評価額が反映される。

③国保の安定的な運営には、国の財政措置や適切な制度設計は欠かせないものと考えている。町としても、知事要望で国に対して必要な施策を推進するよう県を通じて要望させていたいただいた。

県内市町の国保料(税)と値上げ額(単位円)			
市 町	2017年度	2025年度	値上げ額
大津市	434,730	451,890	17,160
彦根市	429,555	453,528	23,973
長浜市	424,090	434,410	10,320
近江八幡市	430,700	448,300	17,600
草津市	389,900	443,300	53,400
守山市	370,300	441,800	71,500
栗東市	460,500	450,400	▲10,100
甲賀市	396,200	438,700	42,500
野洲市	427,100	459,000	31,900
湖南市	411,700	423,500	11,800
高島市	450,100	427,500	▲22,600
東近江市	418,200	444,800	26,600
米原市	431,300	429,500	▲1,800
日野町	369,000	454,100	85,100
竜王町	356,900	394,600	37,700
愛荘町	408,400	416,600	8,200
豊郷町	365,200	442,600	77,400
甲良町	384,500	390,900	6,400
多賀町	339,500	491,100	151,600
平均額	405,151	438,765	33,613

30代の夫婦と就学児2人の計4人世帯、夫の所得310万円のケース。介護分は含まず。平均は単純平均

▲『滋賀民報』社の資料による

## 問 南比都佐地区5集落が供給を受ける 甲賀市上水道の断水事象について

答 地区要望を踏まえ協議を重ね改修の要望を行う



ゆの き き く お  
柚木 記久雄 議員



問

甲賀郡土山町と  
昭和41年に協議が

整い「上水道の区域外設  
置」として上駒月・下駒  
月・深山口・上迫・下迫地

区の5地区は、昭和43年  
頃より土山町から上水道  
の供給を受けています。

その後第3緑ヶ丘地区も  
この取扱いに加入されて  
おります。当時は日野町・

土山町双方に上水道の区  
域外設置のメリットがあ  
り始まったと聞いています。

さて、令和6年に断水  
が4度起こりました。特  
に12月にあった断水は事

故によるもので夕方に突  
然止まり、関係地域の住  
民は大変困りました。

そこで区長会長・公民館  
長と私で甲賀市役所に面  
会に行ったところ「甲賀市

は一般会計から水道事業  
会計に繰出しを行ってお  
り日野町からも工事費負

担の協力をお願いできな  
いか」とのことでした。

日野町にこのことを持  
ち帰りましたが「水道事業  
会計から供給エリア外の

工事費負担はできない」と  
の回答でした。両自治体の

回答とも筋が通っており  
地元では現在、八方ふさが  
りのような状態です。

先般、甲賀市役所との  
協議があったように聞いて  
います。

①協議内容、先方主張の受  
け止めについて伺います。

②この協議の今後の見通  
しはどうですか。

③小学校や公民館もある  
そこは避難所でもあるので  
水道事業会計からの支

出がでなくとも何らか  
のソフトランディングす  
る方法はありませんか。

答

①配水管改修工事  
に伴う費用負担、

一般会計繰出しに関する  
議論、今後の方向性など  
を協議しました。公営企

業法等に基づき独立採算  
による経営が基本で当町  
に負担義務はない。甲賀

市において整理が必要。  
当初の協議に基づき今後  
も甲賀市が経営されるこ

とが原則と考えています。

問

病児・病後児保育の施設について

答

新こども園開設前に近隣市の施設で運用を開始する

問

私はこのことに  
ついては3度目の

質問となります。一度目  
は第二期子ども子育て支  
援計画に計画されている

のに、動きが無いことが  
らその進捗について、二  
度目は県外でも多くの市

町村が実施しており、県  
内では竜王町と当町のみ  
実施していないことから町

の考えを質しました。  
今回は竜王町が認定こ  
ども園で開設したとの記

事を目にしたことで再び  
質問させていただきまし  
た。日野町の新認定こど

も園構想に含まれている  
ことは聞きましたが、ま

②甲賀市との協議は以  
前より行ってきました  
が、見解が相違し前進し

ていませんでした。地区  
要望も踏まえ、改修工事  
の早期着工を要望して

いきます。

答

県内では令和7  
年1月の首長会議

で県主導による広域連携  
の必要性について確認が  
なされ「滋賀県病児保育

広域連携推進会議」が設  
立されました。  
町では「日野町認定こ

ども園整備基本構想」に  
おいて病後児保育室の設  
置を検討しているところ

ですが、もう少し先とな  
ることから、近隣市で運  
営されている民間の病児

保育施設と日野町民の利  
用受入れについて相談・  
協議したところ快諾をい

いただきました。今後、病児  
保育の利用にかかる保育  
料の支援について検討し

ていきたいと考えます。

追加回答として、

場所 甲賀市および湖南  
市にある単独施設  
利用方法 相手先の自治

体と同一手順で  
対象 未就学児に小学生  
を含めるか検討中

開始時期 令和8年予定  
その他 新こども園の開  
園後も継続する

詳細は町のホームペー  
ジ等で発表します。





## 問 平和堂跡地利活用と商店街振興について

**答** 現在、活用計画はないが観光イベントなどで活用し、商店等の賑わいにつなげたい



なかにし けい こ  
**中西 佳子 議員**



### 問

令和3年に町が平和堂跡地を取得

されました。令和6年には、跡地にトイレ設置の設計がされました。現状の跡地利活用は、学校行事、マルシェ、日野祭などの駐車場として活用されています。平和堂跡地がまちなかの賑わいの拠点となるよう願ひ伺う。

①トイレ設置設計をされたが、どのようなもので工事の計画予定はどうか

②現在の跡地利活用のほか、利活用の予定は。

③草が伸びてきている現状だが、管理はどこがされているのか。

④今後、商店街振興につながる跡地利活用計画はあるのか。

### 答

①日野町観光駐車場及びトイレ新築

工事設計については、まちかど感応館新館みかく前のトイレをベースに設計をしたが、仕様変更や物価上昇も伴い想定していた事業費より大幅に増額となった。工事計画は、地元の声を踏まえつつ見直しを進める。

②新たな予定はないが、まちなか観光の基点として、日野祭、日野ひな祭り紀行、コーヒーフェスティバル等の観光イベントなどで駐車場や仮設トイレ設置場所としてひろく活用している。

③跡地については、町が管理しており観光イベントなどで駐車場等として活用する場合は、担当課の商工観光課と日野観光協会で管理している。

④現在、具体的な跡地活用計画はないが、観光イベントなどで駐車場等として活用するにより、商店等の賑わいにつなげたい。



平和堂日野店跡地

## 問 小・中学校体育館のエアコン整備について

**答**

中学校への整備が最優先であると考え、小学校は、体育館の老朽化に伴う大規模改修と合わせて、計画的な整備を検討する。

### 問

学校体育施設開設事業では、多くの町民が年間通して施設を利用されている。子どもたちにとっては、体育館は体育の授業や部活動そして各種行事など重要な場所である。また災害時には、避難所となる体育館の環境改善にエアコン整備も必要と考える。そこで何点が伺う。

①町は体育館へのエアコン設置について、検討や研究、調査はされているのか。

②今後、財政負担等を乗り越え、どう取り組んでいこうとお考えか。

③まずは、中学校体育館から考え、その後、小学校に順次設置を考えられないか。

### 答

①今年度、甲賀市の中学校を訪問し、体育館に設置された空調設備の仕様や実際の使用状況等について情報収集を行った。その中で、経費やランニングコストなどの課題を課内で協議している。

②財政負担等をふまえた取り組みについては、導入にかかる経費は、町財政の負担軽減となる有利な補助事業の活用を検討する。また、学校における使用ルールの調整や学校体育施設開放事業による体育館の使用料の見直しなど、ランニングコストについても検討が必要である。

③体育館への空調設備の設置については、大きな財政負担等を生じることから、計画的な整備を進めることが必要。その中において、猛暑となる夏休み期間にもクラブ活動を行っている中学校への整備が最優先であると考え、小学校については、体育館の老朽化に伴う大規模改修と合わせて一体的に整備するなど計画的な整備を検討する。



▶日野中学校体育館

## 問 米増産への政策転換を受け 町当局の農家への対応を問う

答 農業・農村を守っていくために大小農家、  
土地持ち非農家が協力し合える体制を目指す



ごとう ゆうき 議員  
後藤 勇樹



### 問

長年下落傾向にあった米の消費は2021年度から上向き始め、23年度は国内の米生産量661万トンに対し、需要は705万トンに達しました。23年度は猛暑と水不足で作況指数が悪化し、<sup>くすまい</sup>肩米も増えました。この状況下で24年8月に南海トラフ地震臨時情報が流れ、消費者の米買いだめが急増、米が店頭から消えました。この令和の米騒動は、社会不安を煽るマスコミ報道

が大きな要因と考えられますが、小泉農水相は就任直後から米不足解消と米価安定を掲げて、本来の趣旨から逸脱した政府備蓄米の放出、減反政策後の生産調整を見直した米増産政策、輸入米の活用等を打ち出しています。これらは一見すると消費者に寄り添う施策に映りますが、一方で、ようやく補助金に依存しない稲作経営に光明が見え始めた農家の営農意欲を、再び

削ぐ危険性をはらんでいます。そこで米増産への政策転換を受けた当局の農家への対応を伺います。

### 答

一連の米政策転換は政府備蓄米の市場放出による消費者米価対策等、消費者向けの対応策が目立ち、生産者にとって適正な米価に戻った状況から、今後、再び米価が下落する懸念がある。農家が生産を持続できる農業所得を確保できる仕組みの検討が必要。米の安定供給と生産意欲維持のバランスを考える上では、米価と生産量が重要。農家が将来にわたる生産意欲を維持できるよう、安定供給を望む消費者との結びつきを強めることも大切。このバランスを念頭に置き情報収集し、町のできることを検討したい。農業・農村を守っていくため大小の農家、土地持ち非農家の協力体制構築を目指したい。

## 問 町道奥之池2号線・第二工区の今後の進捗を問う

答 地籍調査を行い、今後の用地買収の円滑化を図っている

### 問

東桜谷住民の長年の懸案であった町道奥之池2号線の整備計画は、令和3年度に第一工区の供用が開始され、幅員が狭く曲がりくねった旧道に比べ、通行が安全になったとの声も届いています。

### 答

町道奥之池2号線の進捗が聞こえてこないことから、町当局の今後の計画を不安視する住民も多くあります。そこで、同町道第二工区の今後の整備計画について伺います。

町道奥之池2号線整備計画は、令和3年度に佐久良地先から町道奥之池線(旧道)に接続するまでの工事が完了し、町としては一定の整備が完了したと認識しており、現時点で具体的な整備計画は無かったが、奥之池地区や議員からの強い要望を受け、先線について地元と継続して協議を進めている。町は現在、多数の町内路線で道路整備要望を受けており、交付金確保、整備路線の整理、人員体制の確保等が課題である。今後、予定範囲で公図が混乱している箇所もあり、道路を整備する上で土地の整理が必要になる。問題解決に向け、地籍調査事業も実施しており、道路整備着手時に、用地買収がスムーズに行えるよう取り組みを進める。



▶ 令和3年度に供用開始された町道奥之池2号線・第一工区



▶ 第二工区の終点。この先、集落まで離合困難な道路が続く



## 問 地域共生社会をつくる重層的支援体制整備とは？

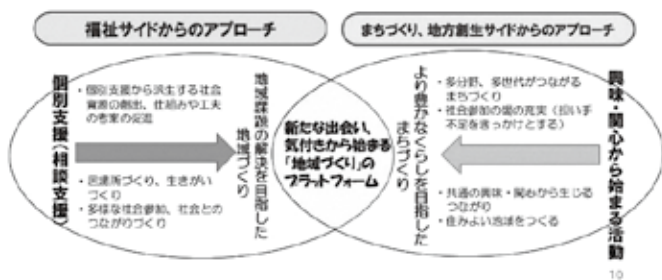
答 人と人とのつながりを再構築する仕組みの整備だ



の や たかゆき  
野矢 貴之 議員



### 『地域共生』は『まちづくり』



▲地域共生は福祉的アプローチにとどまらない  
困りごとと解決の福祉的アプローチだけでなく、やりたいことを見つけ実現していくまちづくり的アプローチも必要  
引用元：日野町地域共生担当課資料

### 問

厚生労働省は、地域共生社会を

「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとものに創っていく社会」と定義している。これは日野町第6次総合計画の一時代の変化に対応しだれもが輝きともに創るまち「日野」を具現化するものだ。そのための「重層的支援体制整備」とは？

### 答

社会情勢の変化によって人間関係

が希薄化してきたことを課題としている。地域共生はお互いさまの関係性を築くことが大切だ。そのための重層的支援体制整備事業とは、人と人のつながりを再構築する仕組みづくりであると考え。つまり、現在が完成形ではなく、新たな体制を整備する必要があるということだ。日野町は体制整備の準備段階にある。

### 問

既存の福祉施策の延長上のような体制を重層的支援体制としてしまうと大きな課題が残る。福祉的アプローチにとどまってしまう、支援する側される側にかれ、地域に根差した活動にならないようでは、目指す姿と乖離が出てしまう。それらを解決する体制の整備をする必要性があるのではないか。

必要なのは特定の課題

### <既存の重層的支援体制整備事業の課題>

- 課題① 福祉的困りごとと解決にとどまる
- 課題② 「支援を受ける側」「支援を担う側」に分かれる
- 課題③ 中央集約型で地域活動にならない

#### ●提案

「公民館機能」を含めた重層的支援体制の整備

公民館機能と福祉的機能を融合できる体制をつくる  
※公民館機能＝地域で育まれるコミュニティ機能

#### ●具体案

「公民館機能」＋「福祉的機能」の職員配置

公民館職員（通常業務）  
＋集落支援員：常勤  
＋生活支援コーディネーター：町社協より巡回  
＋コミュニティソーシャルワーカー：町社協より巡回

#### ●期待する効果

上記課題解決＋福祉も公民館も充実

- 効果① 福祉＋社会教育の切れ目がないかわり
- 効果② 誰もが役割を持つ活動につなげやすい
- 効果③ 公民館という拠点が地域活動そのもの  
※職員や地域負担を増やさず公民館機能が充実する

▲地域共生政策を実現するための体制整備案（野矢案）

### 答

地域共生社会は  
各々やりたいことの活躍も大切なことだ。

また推進する上では、地域単位の仕組みは最も必要で効果的なことだと考える。公民館に専門の相談室を設置できれば地区ごとの実情に合った仕組みの構築ができると考えるが、新たな職員の配置が必要となるので、そこは役場全体で検討をしていきたい。社協職員は地域に入り橋渡し役を担えるよう、コーディネーター機能充実を図っていく。

# 議員のうごき

## 7月

- 4日 第75回「社会を明るくする運動」日野大会  
議員全員
- 6日 第43回日野町消防団ポンプ操法訓練大会 📷  
議長、正副総務常任委員長
- 14日 政策立案・政策提言研修会 📷  
議会力向上特別委員
- 16日 ダム・発電関係市町滋賀県連絡協議会総会  
副議長
- 24日 滋賀県町村議会議長会 議会運営・事務基礎研修会  
議長、1期目議会議員
- 26日 第60回滋賀県消防操法訓練大会出場壮行会  
議長、副議長、総務常任委員長、高橋、加藤、後藤
- 28日 蒲生郡町村議会議長会議員研修会  
議員全員



日野町消防団ポンプ操法訓練大会



政策立案・政策提言研修

## 8月

- 21日 町内立地主要企業・事業所代表者と  
日野町長との懇談会 📷  
副議長、産業建設常任委員長
- 24日 滋賀県消防協会日野支部夏季総合訓練  
副議長、総務常任副委員長、柚木
- 24日 日野町平和祈念式典  
議員全員



町内立地主要企業・事業所代表者と  
日野町長との懇談会

## 9月

- 3日 政策立案・政策提言研修会  
議会力向上特別委員
- 13日 氏郷まつり2025  
議員全員
- 19日、20日 会津若松市交流都市懇親会、会津まつり 📷  
副議長



会津まつり

### その他

通常公務として日野町議会臨時会議・定例会議

一部事務組合(東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会)

議長公務 15件 などがあります。



もっと知りたい

知ってもらいたい

# 日野町議会



## いっばんしつもん 一般質問

町に対し、議案とは関係なく町の行政全般について、事務の執行状況や方針等について説明を求めたり、疑問を問いただしたりすること。

## しつぎ 質疑

議題となっている議案について、議員が説明や意見を求めること。

## はか 諮る

議長や委員長が、議会で物事を決めるために議員や委員の意見を伺うこと。



## いいんかい 委員会

議会で話し合う内容を少人数の議員で詳しく審査するために設置される議会の内部機関のこと。常任委員会、特別委員会などがある。

## ふたくあんけん 付託案件

議会で決める必要のある事項について、より詳しく検討するために、常任委員会や特別委員会に審査や調査を委ねること。審査終了後は本会議で委員長がその経過と結果を報告し、採決が行われる。

## 議長 コラム



議長 杉浦 和人  
児童の  
議場見学を  
振り返り

子どもたちと議会との交流は全国各地で取り組まれており、当町でも小学校六年生を対象に議場見学などを実施し、さまざまな形で交流の機会を設けています。令和二年からは「自分たちの住んでいる町」のことや「日々の生活と町の政治」との関わりを学び、思考力・判断力・表現力を養うことを目的に、役場探検や議会への提案・要望など、活発な交流活動を行って来しました。

交流の中では「なぜ議員になろうと思ったのですか」といった質問を受けることもあり、その際には抽象的な答弁に終始せず、すべての議員が日々の議員活動や自らの政治姿勢を踏まえ、自信を持って具体的に答えられるよう努めなければならぬと身の引き締まる思いでした。また、ある児童からは「町の中心部は栄えているが、自分の住む地域はそうではない」と、町の将来を憂える意見をいただくこともありました。

これまで多くの児童の皆さんとワークショップや懇談を重ねてまいりました。人口減少や少子高齢化が加速する現実を直視し、子どもたちや若い世代が「この町に住み続けたい」と思えるような町づくりに向けて、行政と議会が一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

## 編集後記

この議会だよりが皆さまに届くころには、秋の本番を迎えているのではと思います。「読書の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」「実りの秋」「芸術の秋」「行楽の秋」他にもいろいろあるようです。皆さんにあてはまる秋はどれでしょうか。

今回の議会だよりでは委員会のページを少しばかり模様替えしました。「正確な記事」に加え読みやすさも大事にしています。

住民の皆さまに議会や議員のことがよくわかる手作り広報誌として工夫を凝らしチャレンジを続けます。ご意見をお待ちしています。

柚木 記久雄

## 「議会だより」へのご意見を お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。



## 12月定例会議(本会議)のお知らせ(予定)

12月1日(提案説明) 11日(質疑・一般質問)  
12日(一般質問) 23日(委員長報告・採決)

# 議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター  
がもにゃん

## 秋の交通安全運動

啓発



秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで行われました。日野町においても、通勤通学中の皆さんに向けた交通安全の街頭啓発が実施され、地域を見守る方々と一緒に議員も各地に分かれて交通安全啓発運動を行い、地域全体で安全意識の向上に努めました。



式典

## 日野町平和祈念式典



日野町平和祈念式典が8月24日に執り行われ、議員も参列しました。式典前半では戦没者を追悼し、恒久平和を祈念しました。後半では、戦後80年平和事業として、鹿児島県の知覧特攻平和会館などを研修で訪れた町内小中学生2名から「戦争をしない取組が重要」「内容を周囲に伝えたい」と報告がありました。また、日野中の生徒と朗読サークルの皆さんは、町内で終戦翌日に一家5人で自決した内倉秀夫陸軍中尉を題材にした朗読劇を行い、遺書の内容や村人の思い出を語りかけ、参列者は厳粛な面持ちで耳を傾けました。

式典を通じて、平和の尊さを共有するとともに、次世代に伝えることの重要性を改めて感じました。



## 各地区にて行政懇談会が開催される

懇談会



行政懇談会は7月5日から8月29日にかけて、7つの地区でそれぞれ開催され、行政からは町長はじめ役場幹部職員と地区からは各区長等の出席がありました。懇談会では、自治会より事前に提出された行政への要望事項はじめ、各地区における様々な問題について話し合いが行われました。また、何班かに分かれてグループワーク形式で進められた地区もありました。各地区に所属する議員もその懇談会に出席し、地域から出された意見などを間近に聴かせていただきました。

日野町議会広報

**日野町議会 議会だより**

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。